

## 仕様書

品名 交流安定化電源装置

型式名 RE100FW2/RE60FW2

オムロンソーシアルソリューションズ株式会社

IoT ソリューション事業本部

品名 交流安定化電源装置	形式 RE100FW2/RE60FW2	貴社仕様書番号
用途		
添付図面		
特記事項		
<p>■本製品は、日本国内専用品です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本国外の電源には対応しておらず、日本国外での使用は故障、火災の原因となることがあります。また、日本国外の法規制には対応していません。</li> <li>・日本国外への輸出および日本国外での使用は、お客様の判断と責任の下で行われるものとし、弊社は一切の責任を負いません。</li> <li>・お客様の判断により本製品を輸出(個人による携行を含む)される場合は、外国為替及び外国貿易法に基づいて経済産業省の許可が必要となる場合があります。必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。</li> <li>・海外の安全規格や電磁波障害などの規格/規制には対応していません。</li> </ul> <p>■本仕様書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。</p>		
無償保証期間 購入日より起算して3年間とします。		
仕様書の有効期間 本仕様書は発行より1年を経過して、受領またはご発注のない場合は無効とさせていただきます。		
仕様書変更経歴 仕様書の記載内容が変更された場合には、改正符号(アルファベット)を記入し、仕様書番号の末尾に改正符号と同じ符号をつけて処理しております。なお本仕様書の記載内容に影響を与えない範囲での変更を行うことがありますので、予めご了承下さい。		
符号	年月日	改正内容
A	2012/03/06	新規作成
B	2014/05/07	仕様書有効期間追記
C	2019/04/18	特記事項の記載内容変更
D	2019/06/10	特記事項の記載内容変更。保証約款裁判管轄地変更。
E	2021/10/11	付属品変更
F	2022/12/28	記載項目変更、文言統一
G	2023/06/12	文言統一

目次
----

本仕様書は、交流安定化電源装置 RE100FW2/RE60FW2 について記載しています。

1. 免責事項(ご承諾事項)について .....	4
2. 仕様.....	5
3. 各部の名称と説明.....	8
4. 表示.....	10
5. 入手カブロック図.....	11
6. 外形寸法図.....	12
7. 付属品とオプション品.....	14
8. 安全上のご注意.....	14

## 1. 免責事項(ご承諾事項)について

- 本書に記載の使用条件、環境などを遵守してください。本機が故障または発煙、発火、けがなどの事故に至る恐れがあります。
- 人の安全に関与し、公共の機能維持に重大な影響を及ぼす装置などについては、システムの多重化、非常用発電設備など、運用維持、管理について特別な配慮が必要となります。  
特に信頼性の要求される重要なシステムなどへの使用に際しては、オムロン電子機器カスタマサポートセンタへご相談ください。
- 本機は、コンピュータなどの OA 機器もしくは FA 機器に使用することを目的に設計・製造されています。  
以下のような、極めて高い信頼性や安全性が要求される用途には使用しないでください。
  - ・ 人命に直接かわる医療機器やシステム
  - ・ 人身の損傷に至る可能性のある用途。(航空機、船舶、鉄道、エレベータなどの運行、運転、制御などに直接関連する用途)
  - ・ 車載、船舶など常に振動が加わる可能性がある用途。
  - ・ 故障すると社会的、公共的に重大な損害や影響を与える可能性のある用途。  
(主要な電子計算機システム、幹線通信機器、公共の交通システムなど)
  - ・ これらに準ずる機器、用途
- 本書に記載の安全上のご注意を含む設置から運転までの手順を守らなかったことによって生じた損害、本機に起因する他の装置・接続機器・ソフトウェアの異常、故障その他の二次的な損害、その他の本機によって生じた損害(事業利益の損失、事業中断、情報の損失またはその他の金銭的損害を含む)の賠償および補償には応じかねます。
- 本機は故障により意図せず機能が停止する可能性があります。不測の事態に備え、データの保護やシステム冗長化などの対処をしてください。
- 本機を第三者に譲渡・売却する場合は、本機に添付されている書類などすべてのものを本機に添付の上、譲渡してください。本機は添付書類など記載の条件に従うものとさせていただきます。
- 本機は、日本国内専用品です。
  - ・ 日本国外の電源には対応しておらず、日本国外での使用は故障、火災の原因となることがあります。また、日本国外の法規制には対応しておりません。
  - ・ 日本国外への輸出および日本国外での使用は、お客様の判断と責任の下で行われるものとし、当社は一切の責任を負いません。
  - ・ お客様の判断により本機を輸出(個人による携行を含む)される場合は、外国為替及び外国貿易法に基づいて経済産業省の許可が必要となる場合があります。必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。
- この装置は、クラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

## 2. 仕様

### ●方式

項目	仕様・機能	備考
運転方式	常時インバータ給電方式	
冷却方式	強制空冷	

### ●交流入力

項目	仕様・機能	備考
起動電圧範囲	85±2V～146±2V	
入力電圧範囲	90%未満の負荷接続時:75±2V～143±2V 90%以上の負荷接続時:85±2V～143±4V	
入力最大電流	RE100FW2: 12A RE60FW2: 7.5A	定格負荷、最小入力電圧時
周波数	同期モード時: 50/60Hz±5Hz 非同期モード時: 40～70Hz	
相数	単相2線(アース付)	
入力過電流保護	RE100FW2: 15A RE60FW2: 10A	リセットボタンタイプ 過電流保護器
AC 入力接続	AC コード直付け	
AC 入力プラグ形状	3P AC プラグ(アース付) NEMA 5-15P (15A)を装備	
AC 入力(電源)ケーブル	3P AC 入力ケーブルを本体に接続/約 2m	

## ●交流出力

項目		仕様・機能	備考
容量	出力定格容量	RE100FW2: 1000VA /800W RE60FW2: 600VA /480W	VA/W ともに左記上限値を超えないこと。
電圧	出力電圧(実効値)	100V mode: AC100V±2% 110V mode: AC110V±2% 115V mode: AC115V±2% 120V mode: AC120V±2%	
	ピーク電圧	100V mode: AC141V±6% 110V mode: AC156V±6% 115V mode: AC163V±6% 120V mode: AC170V±6%	
周波数	商用運転時	同期モード時: 入力周波数に同じ 非同期モード時: 50/60Hz±0.5Hz	起動時に自動設定
出力波形		正弦波	
停電/復電切替時間		無瞬断	
波形歪率		6%以下 (定格SPS 負荷接続時) 3%以下 (定格抵抗負荷接続時)	
相数		単相2線(アース付)	
バイパス運転切替	接続容量オーバー検出	定格容量 110%以上: 瞬時バイパス運転切替	オートトランスファ
	切替時間	無瞬断	内部温度異常、インバータ故障、内部電圧異常、ファン停止、接続容量オーバー時 制御回路異常・停止時
	オートトランスファ	オーバーロード状態から定格容量以下に低減するとバイパスからインバータへ復帰	商用運転時のみ
短絡保護		出力垂下、入力過電流保護器	
出力コンセント形状		15A 3個(NEMA 5-15R)	

## ●インタフェース

項目		仕様・機能	備考
表示	状態表示	デジタル表示器(7セグメント/2桁表示)	
	電源出力表示	緑LED1個: 出力供給中	
	バイパス運転表示	黄LED1個: 直送にて出力供給中	
ブザー	1)連続鳴動 2)連続鳴動 3)鳴動 1回/0.5秒	表示器との組合せにより、下記の状態を音で表現 1) 故障 2) オーバーロードにより停止 3) オーバーロード中	
通信	方式	シリアル通信(RS-232C) 接点信号入出力	シリアル通信と接点信号は同時使用可能
リモート ON/OFF 入力		オープン/クローズ	

## ●スイッチ

項目		仕様・機能	備考
電源出力 スイッチ	位置	前面パネル操作部	
	種類	ON/OFF 押しボタン方式	オルタネートタイプ
	機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源出力開始</li> <li>電源出力停止</li> </ul>	
ブザー 停止	位置	前面パネル操作部	
	種類	押しボタン方式(タクトスイッチ)	モーメンタリタイプ
	機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>ブザーの一時停止</li> <li>CVCFの動作モード設定</li> </ul>	
設定 スイッチ	位置	前面パネル操作部	
	種類	ディップスイッチ	
	機能	CVCFの機能設定	

## ●環境

項目	仕様・機能	備考
動作周囲温度	-10℃～55℃	
動作周囲湿度	10%～90%RH	無結露
保管温度	-20℃～55℃	
保管湿度	10%～90%RH	無結露

## ●規格

項目	仕様・機能	備考
ノイズ規制	VCCI クラスA 適合	

## ●その他

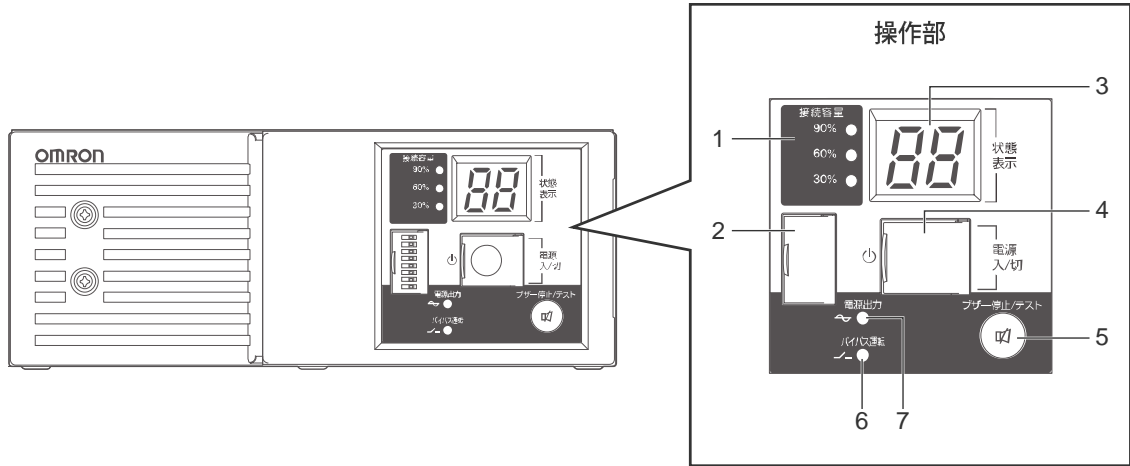
項目	仕様・機能	備考
内部消費電力	(無負荷時) RE100FW2: 33W RE60FW2: 28W (定格負荷時) RE100FW2: 110W RE60FW2: 70W	
騒音	50dB 以下	
外形寸法 (幅×奥行×高さ)	220×500×85mm	公差±1mm ※突起部含まず ※高さにはゴム足高さ(14mm) 含まず
本体質量	約 6kg	

## ●梱包仕様

項目	仕様・機能	備考
梱包箱外形寸法 (幅×奥行×高さ)	300×598×205mm	公差±5mm
梱包質量	約 8kg	

3. 各部の名称と説明

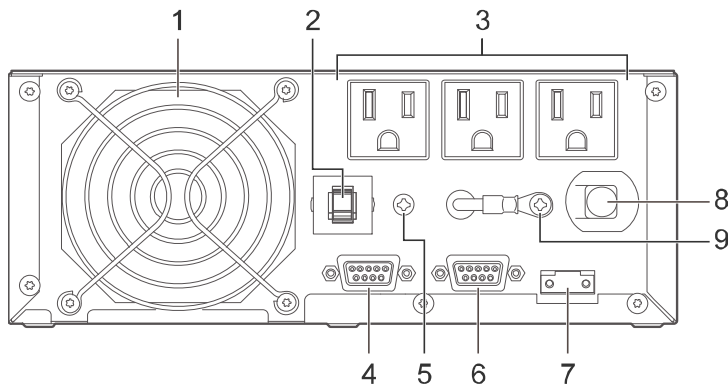
前面



図内記号	名称	説明
1	「接続容量」レベルメータ	接続機器の消費電力を示します。
2	設定スイッチカバー	設定スイッチのカバーです。設定スイッチを使って本機の機能を変更するときは、カバーを開いてください。
3	デジタル表示器	本機の状態をデジタル表示します。
4	「電源」スイッチ	電源を入れる／切るときに操作します。
5	「ブザー停止/テスト」スイッチ	ブザーを一時止めるときに操作します。
6	「バイパス運転」ランプ	バイパス運転中に点灯します。
7	「電源出力」ランプ	接続機器に電力を供給しているときに点灯します。



## 背面



図内記号	名称	説明
1	ファン	本体背面に取り付けられている外部冷却ファンです。
2	入力過電流保護器	本機が過電流を検知すると動作し、過負荷状態が継続するのを防ぎます。 ※ 動作すると入力過電流保護器が飛び出します。入力過電流保護器を押し込むと、動作を解除できます。
3	電源出力コンセント	接続機器の AC 入力プラグを差し込み、接続機器に電力を供給します。
4	RS-232C コネクタ	RS-232C ケーブルを接続するためのコネクタです。
5	接地用端子	接続機器にアース線が付属している場合、アース線を接続するための端子です。
6	信号入出力コネクタ	信号出力や CVCF 停止信号入力に使用します。
7	リモート ON/OFF 専用ポート	リモート ON/OFF 信号入力に使用します。
8	AC 入力ケーブル	先端の AC 入力プラグを電源コンセント(商用電源)に差し込み、本機に電力を供給します。
9	入力サージ保護 GND	耐電圧試験・絶縁抵抗試験をするときは、入力サージ保護 GND のねじを外してください。 使用中は、入力サージ保護 GND のねじを取り付けてしっかり締めてください。

## 4. 表示

デジタル表示器やランプ、ブザー音で本機の状態を表します。  
通常使用時の主な表示は、以下の通りです。

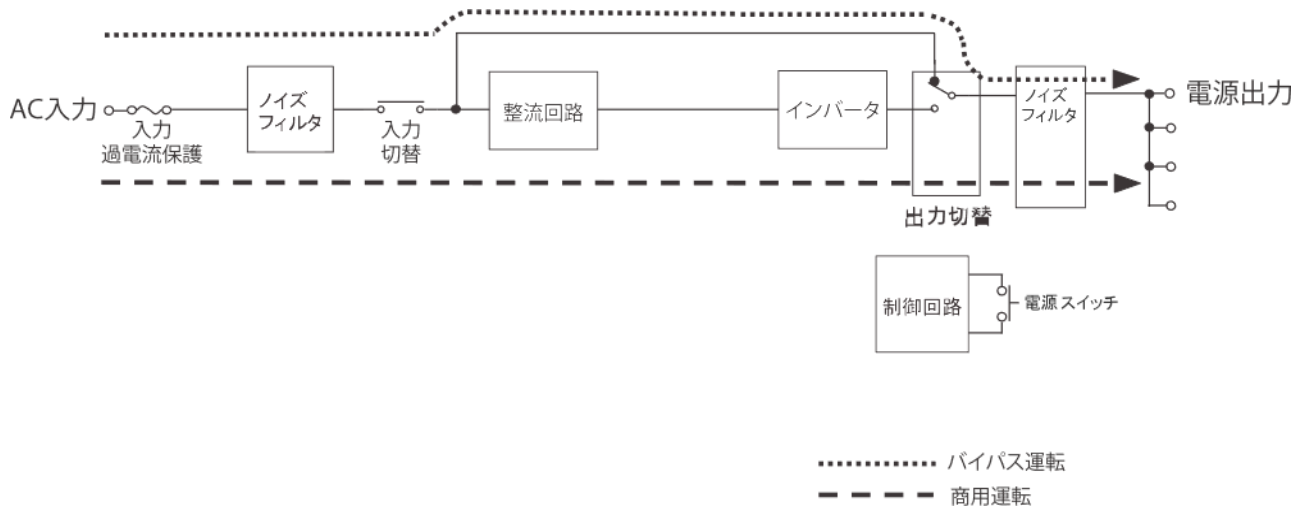
○:消灯

●:点灯

⋯:点滅

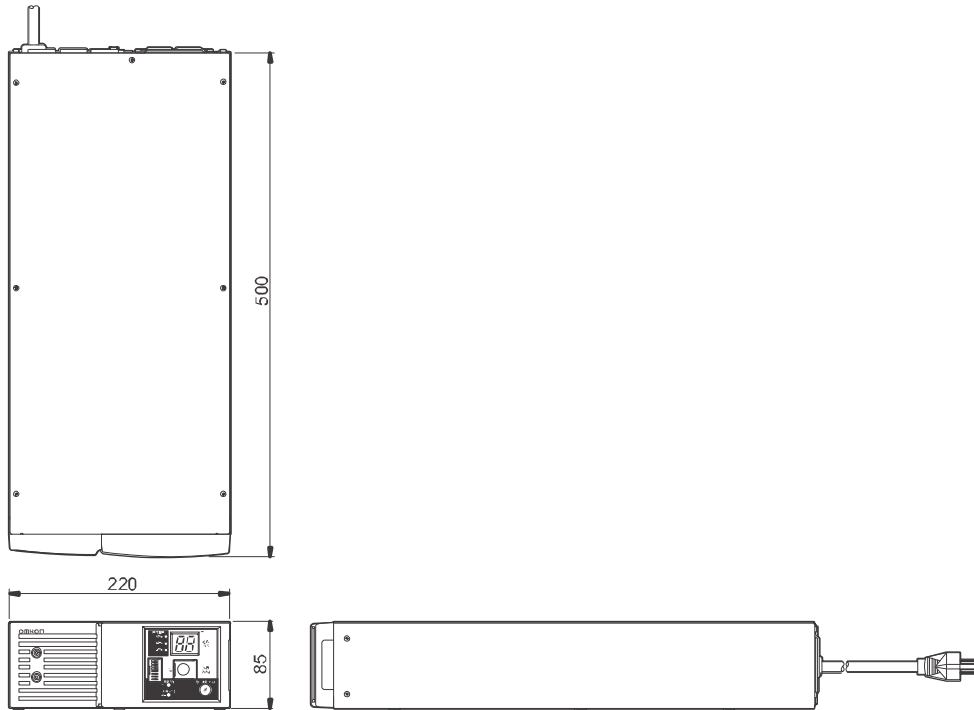
状態表示	「電源出力」ランプ	「バイパス運転」ランプ	ブザー音	本機の状態
■ ■	○	○	なし	運転前、運転停止中 (AC 入力あり、「電源」スイッチ「切」)
On	●	○	なし	商用運転中 (AC 入力あり、「電源」スイッチ「入」)
EL	●	●	なし	ECO モードで運転中

5. 入出力回路ブロック図

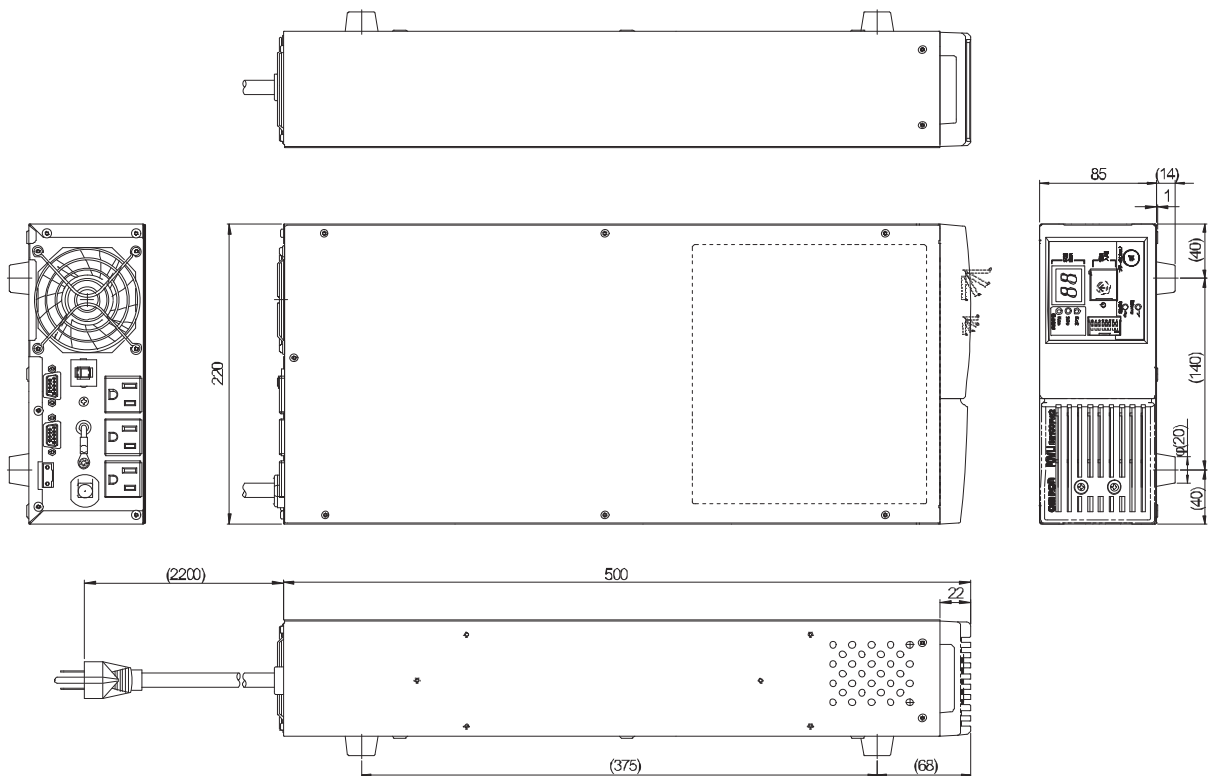


6. 外形寸法図

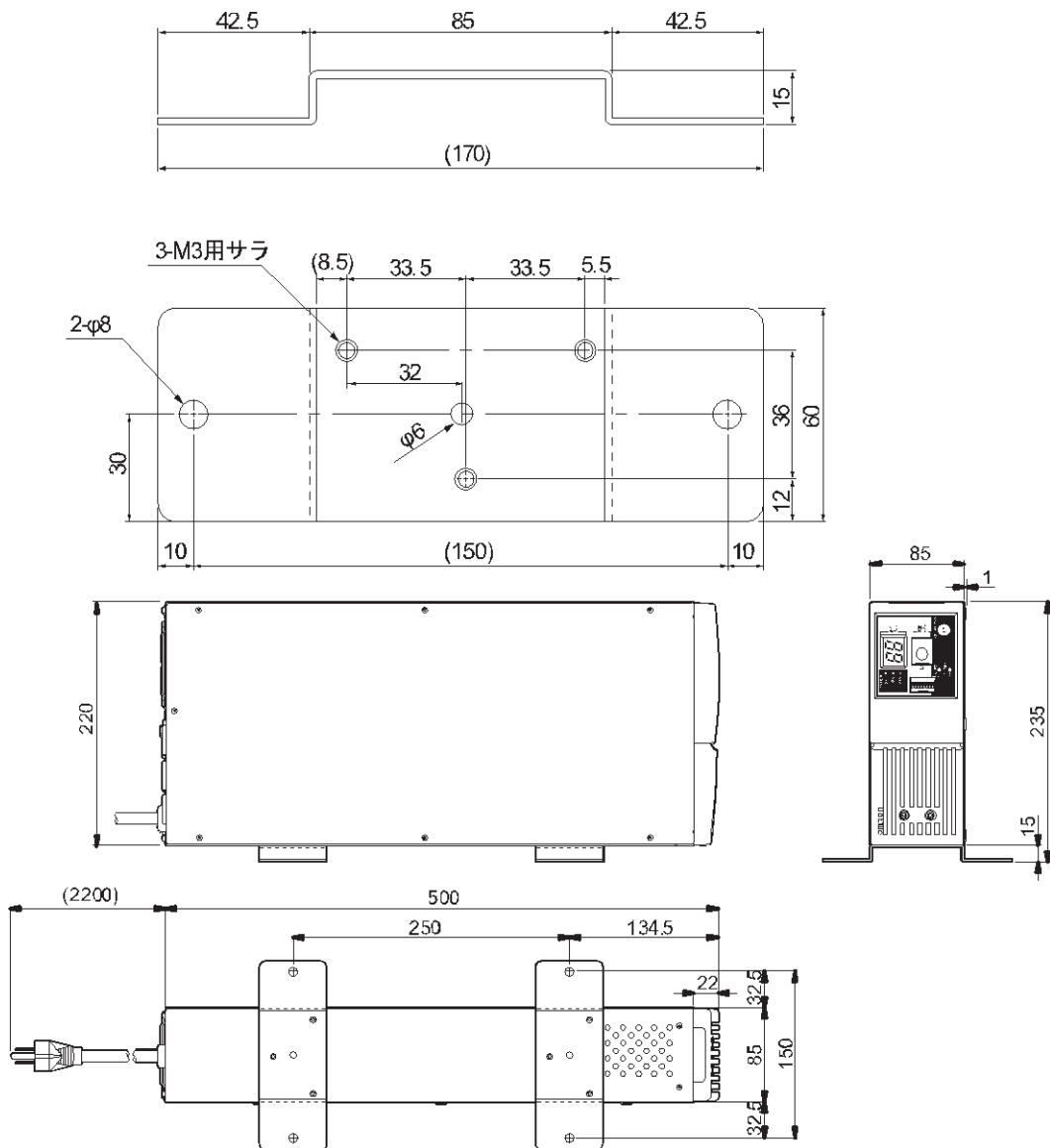
※ 単位:mm/公差±1mm



ゴム足



縦置きスタンド



## 7. 付属品とオプション品



品名	説明	RE100FW2 RE60FW2
ゴム足	本体を横置きする場合に使用します。	4個1組
縦置きスタンド 	本体を縦置きする場合に使用します。	1セット
3P-2P 変換プラグ 	本機の AC 入力プラグを 2P コンセントに接続するための変換プラグです。	1個
リモート ON/OFF 専用コネクタ 	リモート ON/OFF 信号で本機を制御する場合に、信号入力用の配線を接続するためのコネクタです。	1個
使用上の注意事項	本機を使用する上での注意事項を記載しています。	1枚
保証書	本機の保証書です。	1枚
製品番号ラベル	製品番号が記入されています。	4枚
動作状態の見方ラベル	本機の表示やブザー音などについて記載されています。	1枚
オムロン連絡用ラベル	お問い合わせ窓口が記入されています。 ※ 本機の見えるところに貼り付けてください。	1枚
QRコード対応 Web サイトのご案内/付属品(紙媒体)の変更について	QRコードからアクセスできる Web サイトの案内と、付属品の変更に関するお知らせが記載されています。	1枚

※本機にはオプション品はございません。

## 8. 安全上のご注意


安全に使用していただくために重要なことがらが書かれています。設置やご使用開始の前に必ずお読みください。

- 本取扱説明書の安全についての記号と意味は以下の通りです。

	<b>警告</b>	正しい取り扱いをしなければ、軽傷・中程度の傷害を負ったり、万が一の場合は重傷や死亡に至る恐れがあります。 また、同様に重大な物的損害を受ける恐れがあります。
	<b>注意</b>	正しい取り扱いをしなければ、軽傷・中程度の傷害を負ったり、あるいは物的損害を受ける恐れがあります。

※ 物的損害とは、家屋・家財および家畜、ペットなどに与えられる拡大損害を示します。



：禁止(してはいけないこと)を示します。たとえば  は接触禁止を意味しています。



：強制(必ずしなければいけないこと)を示します。たとえば  はアース接続(接地)が必要であることを意味します。

なお、注意に記載した事項でも状況によっては重大な結果に結びつく可能性もあります。いずれも重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。



## 警告(設置・接続時)

梱包のポリ袋やフィルム類は、幼児の手の届かない場所に保管する。

- 小さいお子様がかぶつたりのみ込んだりすると、呼吸を妨げる危険性があります。



取り出しや運搬の際は、重量・バランスに注意して取り扱い、安定した水平な場所、頑丈な場所に置いて使用する。また、設置作業は安定した平らな場所で行う。

- 製品の重心が偏っています。取り出しや運搬の際は、転倒や落下にご注意ください。巻き込まれるとけがをする恐れがあります。
- 落下させた場合はすぐに本機の使用を中止し、点検、修理を依頼してください。点検、修理については当社へご相談ください。
- 本体の質量については「2 仕様」を参照してください。



本機を正しい方法で設置する。

- 誤った方法で設置すると、転倒や落下に巻き込まれてけがをする恐れがあります。
- 設置面と本機の底面の間に指をはさまないようにご注意ください。



通気口をふさがないように、本機の周囲にものを置かない。また、壁から離して設置する。

- 内部温度が上昇し、本機の故障の恐れがあります。また、異常な発熱による発煙、発火、火災の恐れがあります。



本機の上にものを乗せたり、重量物を落下させたりしない。

- 落下してけがをする恐れがあります。
- ケースのゆがみや破損、内部回路の故障により発煙、発火、火災の恐れがあります。



取付けねじは必ず付属のものを使用する。

- 本機への取り付けに付属品以外の長いねじを使用すると、内部を損傷することがあります。
- 付属品以外のねじを使用すると強度不足により、本機が落下し、けがをする恐れがあります。



使用環境が仕様範囲を超えないようにする。

- 本機が故障したり、火災を起こしたりする恐れがあります。
- 周囲温度、湿度については「2 仕様」を参照してください。
- 本機の使用時なども上記に準じます。



**警告(設置・接続時)**

次のような場所に設置しない。

- 本機が故障、劣化したり、発煙、発火により火災を起こす恐れがあります。
  - ・隙間のないキャビネットなど密閉した場所
  - ・可燃性ガスや腐食性ガスがある場所
  - ・直射日光が当たる場所
  - ・ストーブなどの熱源から直接加熱される場所
  - ・極端にほこりの多い場所
  - ・導電性のほこりがある場所
  - ・振動や衝撃が加わる場所
  - ・塩分や水滴がある場所
  - ・屋外など



ケーブルを引っ張ったり、はさんだり、無理に折り曲げたりしない。ケーブルを束ねて使用しない。

- ケーブルの損傷や発熱により、感電や火災の恐れがあります。
- ケーブルに異常がある場合はすぐに本機の使用を中止し、修理を依頼してください。修理については当社へご相談ください。



本機の AC 入力は、必ず定格入力電圧、定格入力周波数の商用電源に接続する。

- 電圧、周波数の違う商用電源に接続すると、本機が故障したり、発煙、発火の恐れがあります。
- 自家発電機や、トランスで降圧した電源に接続した場合、正常に動作しない場合があります。
- 本機の定格入力電圧、定格入力周波数については「2 仕様」を参照してください。



異常発生時(異臭・異音、発煙・発火など)は本機の電源を切り、商用電源の供給を止める。

- AC 入力プラグは電源コンセント(商用電源)からすぐに抜ける状態で本機の近くに設置してください。
- 接続機器の保守時なども、安全のため上記に準じて実施してください。



確実にアース接続(接地)する。

- 本機および接続する機器のアース端子をアースに接続してください。アース接続(接地)を実施しないと、故障や漏電があった場合に感電する恐れがあります。また、アースを接続せずに他の機器と本機に同時に触れると感電する恐れがあります。
- 本機を電源コンセント(商用電源)に接続する際は、コンセントとプラグの形状を確認の上、本機の AC 入力プラグをそのまま差し込んでください。
- 付属の 3P-2P 変換プラグをお使いの場合は、圧着端子を確実にアース接続(接地)してください。アース接続(接地)は、必ず AC 入力プラグを電源コンセント(商用電源)に接続する前に行ってください。また、アース接続(接地)を外す場合は、必ず AC 入力プラグを電源コンセント(商用電源)から抜いて行ってください。
- サージ保護を機能させるために、アースに接続してご使用ください。



単体の変圧トランス、絶縁トランスを出力側に接続しない。

- 本機が故障、発煙、発火する恐れがあります。



ドライヤー、一部の電磁弁などの半波整流機器を接続しない。

- 本機が故障、発煙、発火する恐れがあります。



レーザープリンタ、複写機、掃除機など、間欠的に瞬時に大電流が流れる装置を接続しない。

- 本機が故障、発煙、発火する恐れがあります。



テーブルタップなどで接続機器を増設する場合は、テーブルタップなどの電流容量を超える機器を接続しない。

- テーブルタップの配線が発熱し、発煙、発火する恐れがあります。





**警告(使用時)**

濡らしたり、水をかけたりしない。

- 感電や発煙、発火の恐れがあります。
- 水に濡らした場合はすぐに本機の使用を中止し、商用電源の供給を止めてください。
- 商用電源の供給を止めたら、点検、修理を依頼してください。修理については当社へご相談ください。



本機が落下した場合は使用しない。

- 感電や発煙、発火の恐れがあります。
- 落下した場合はすぐに本機の使用を中止し、商用電源の供給を止めてください。
- 商用電源の供給を止めたら、点検、修理を依頼してください。修理については当社へご相談ください。



本機には設計上の標準使用期間があるため、計画的に本機を交換し、設計上の標準使用期間を超えて使用しない。

- そのまま使用を続けた場合、経年劣化により、突然運転を停止するなどの誤動作や故障の原因になります。また、発煙、発火が生じ、けが、火災などの事故に至る恐れがあります。
- 本機の標準使用期間の目安は以下の通りです。

周囲温度	標準使用期間
25℃	7年
40℃	5年

※ 左表の標準使用期間は周囲環境(温度、塵埃)によっても異なるため、保証値ではなく目安となります。

※ 交換が可能なバッテリーやファンは除きます。



AC 入力プラグ、電源出力コンセント、端子台のほこりは、ときどき乾いた布でふき取る。

- 長期間ほこりが付着したままとしておくと火災の恐れがあります。
- ほこりをふき取る際は、接続機器および本機をすべて停止し、商用電源の供給を止めてください。
- 引火の恐れがあるため、シンナー、ベンジン、アルコールなどの溶剤を含む薬品などで拭かず乾いた布を使用してください。



密閉した場所で使用したり、カバーを掛けたりしない。

- 異常な発熱や、発煙、発火による火災の恐れがあります。
- 本機周辺の換気を行ってください。



異常発生時(異臭・異音、発煙・発火など)は本機の電源を切り、商用電源の供給を止める。

- このような状態で使用すると漏電や火災の恐れがあります。
- このような状態になったら必ず使用を中止し、点検、修理を依頼してください。点検、修理については当社へご相談ください。
- 使用時は、異常発生時にすぐに商用電源の供給を止めることができる状態にしておいてください。



完全に接続機器への電源出力を停止したい場合は、接続機器を安全に停止させた後に、商用電源の供給元を停止するか、本機への商用電源の供給を止める。

- 故障や誤動作したまま電源出力を継続すると、火災などの恐れがあります。
- 出力を停止させずに出力端子に触れると感電の恐れがあります。
- 本機は内部の制御回路機能が故障あるいは誤動作により停止した場合でも、接続機器へ電力を供給するための無停止バイパス機能を装備しているため、電源出力が維持されます。
- 表示部の表示がすべて消えていても電源出力は継続します。
- 電源スイッチで本機の電源を切っても接続機器への電源出力は停止しません。



入力過電流保護器が飛び出しているまたは OFF になっているときは、接続機器が多すぎるか接続機器側の短絡故障が考えられるため、この状態で、何度も押し込んだり押し続けるあるいは何度も OFF と ON を繰り返すことはしない。

- 入力過電流保護器を何度も押し込んだり押し続ける、あるいは何度も OFF と ON を繰り返したりすると、発煙、発火の恐れがあります。
- 接続機器をすべて外し、商用電源の供給を止めてから、入力過電流保護器を押し込んでください。その後、商用電源を供給して、本機の電源を入れてください。飛び出した状態が改善されない場合は使用を中止し、点検、修理を依頼してください。点検、修理については当社へご相談ください。



**警告(使用時)**

本機が**運転状態**でAC入力プラグが抜けた場合、AC入力プラグの金属部は絶対に触らない。

- 感電の恐れがあります。
- 本機単体の漏れ電流は安全規格以下ですが、接続機器により漏れ電流が増えますのでAC入力プラグの金属部は絶対に触らないでください。
- 本機が運転状態の場合、時間経過にかかわらず、内部回路のコンデンサを通じAC入力プラグの金属部に電圧が発生します。



本機の**出力電圧設定と接続機器の定格電圧が合っていることを確認してから、電源を入れる。**

- 接続機器の定格電圧を超える電圧を出力すると、接続機器の故障や火災の恐れがあります。

**警告(保守時)**

**分解、修理、改造をしない。**

- 感電や発煙、発火の恐れがあります。



**接続機器の保守を行うときは本機の電源を切って出力を停止し、商用電源の供給を止める。**

- 感電や発煙、発火の恐れがあります。
- 本機の電源を切っても商用電源が供給されている場合は、接続機器への電力供給が継続されることがあります。必ず本機の電源を切った上で、商用電源の供給を停止してください。



**本機を火の中に投棄しない。**

- 火災の恐れがあります。



**本機の電源出力コンセントに金属類を挿入しない。**

- 感電や発煙、発火の恐れがあります。



**コネクタに金属物を挿入しない。また、コネクタの端子間をショートさせない。**

- 感電する恐れがあります。
- 発火、火災、やけどの恐れがあります。

**警告(保管時)**

**保管環境が仕様範囲を超えないようにする。**

- 本機が故障、劣化したり、発火により火災を起こしたりする恐れがあります。
- 周囲温度、湿度については「2 仕様」を参照してください。



**次のような場所で保管しない。**

- 本機が故障、劣化したり、発煙、発火により火災を起こしたりする恐れがあります。
  - ・可燃性ガスや腐食性ガスがある場所
  - ・直射日光が当たる場所
  - ・ストーブなどの熱源から直接加熱される場所
  - ・極端にこまごりの多い場所
  - ・導電性のほこりがかる場所
  - ・振動や衝撃が加わる場所
  - ・塩分や水滴がある場所
  - ・屋外など



**注意(設置・接続時)**

同梱されているすべての付属品は、本機に限り使用できるものであり、他の機器には使用しない。

- 他の機器を安全にご使用いただくために必ずお守りください。



本機の最大入力電流以上の電流容量のある商用電源に接続する。

- 電流容量を超えた場合、電源配線が発熱する恐れがあります。
- 本機に出力容量最大限の機器を接続した場合に流れる最大電流については「2 仕様」を参照してください。



定格電圧が本機の定格出力電圧と異なる機器を接続しない。

- 過電圧により、接続機器が故障することがあります。
- 本機の定格出力電圧については「2 仕様」を参照してください。



本機の定格出力容量を超える機器を接続しない。

- 本機が、オーバーロード(過負荷)を検出すると、電源出力を停止することがあります。
- 本機の定格出力容量については「2 仕様」を参照してください。



商用電源にて使用できない機器は本機に接続しない。

- 本機が故障や誤動作を起こすことがあります。
- 本機の設定や状態によって、商用電源がそのまま接続機器に供給されます。

**注意(使用時)**

本機の上部に腰掛けたり、乗ったり、踏み台にしたり、寄りかかったりしない。

- 本機の故障だけでなく、転倒によりけがをする恐れがあります。



定期的になじが緩んでいないか、板金の隙間がないかを確認する。

- なじが緩んでいると、製品が破損する恐れがあります。



## お願い

- 本機を寒い場所から暖かい場所へ移動した後は、数時間放置してから使用開始してください。
  - ・ 急に暖かい場所へ移動すると水分が付着(結露)し、そのまま通電すると故障する恐れがあります。
- 本機の AC 入力プラグを本機の電源出力コンセントに差し込まないでください。
  - ・ 本機が故障する恐れがあります。
- 耐電圧試験・絶縁抵抗試験を行うときは、背面の入力サージ保護 GND のねじをはずして実施してください。試験が完了しましたら入力サージ保護 GND のねじを取り付けてしっかり締めた後、ご使用ください。
  - ・ 電源入力線にサージ吸収素子が入っており、耐電圧試験をするとサージ吸収素子が破壊されます。
  - ・ 入力サージ保護 GND のねじをはずさないで絶縁抵抗試験をする場合は、DC250Vレンジで実施してください。入力サージ保護 GND のねじをはずした場合は、DC500Vレンジで実施することが可能です。